

## 平成 17 年度当初予算 施策別概要

### 4 1 3 水環境の保全

( 主担当部局 : 環境森林部 )

- 41301 安全・安心な水環境の確保 ( 環境森林部 )
- 41302 生活排水対策の推進 ( 環境森林部 )
- 41303 生物を活用した水環境保全対策の推進 ( 環境森林部 )
- 41304 伊勢湾の再生 ( 環境森林部 )
- 41305 水環境保全の研究の推進 ( 総合企画局 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 河川の水質が

( 意図 ) 水浴びや水遊びができる程度にきれいに維持または浄化されている

#### < 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
水浴びや水遊びができる水質 ( BOD2mg/L 以下 ) の河川の割合 ( % )	目標値	7 5	7 8	8 1	8 5
	実績値	7 9	7 8		

県内の河川水域 ( 2003 年度末現在 61 水域 ) のうち、河川の水質が水浴びや水遊びができる程度にきれいに維持または浄化されている ( 生物化学的酸素要求量 ( BOD ) 2mg/L 以下 ) 水域の割合

#### < 平成 17 年度に残っている課題 >

河川の水環境基準の達成率は必ずしも十分ではなく、海域の水質についても、多くの海域で環境基準を達成せず、富栄養化に起因する赤潮等も頻発しています。

生活排水処理施設の整備率は全国平均を下回っており、特に下水道等の集合処理施設の普及が進んでいない地域では低い状況となっています。

伊勢湾の再生・水質改善には、多様な主体との連携・協働を図る必要があります。

環境汚染が深刻化している閉鎖性海域 ( 英虞湾 ) における干潟、浅場、藻場などの自然浄化機能にかかる研究を行っていますが、経過観察など複数年次にわたるため、引き続き実施していく必要があります。

#### < 平成 17 年度の施策の取組方向 >

河川、海域、地下水等の監視や地盤沈下の観測を実施するとともに、その結果を踏まえた総合的な対策を実施します。

また、第 5 次伊勢湾水質総量規制に基づく COD、窒素、リンの総量削減対策など、伊勢湾の水質の保全・改善に向けた取組や普及啓発活動等を実施します。

三重県生活排水処理施設整備計画の見直しを行うとともに、それぞれの地域の実情にあった生活排水処理施設の整備を進めます。特に、生活排水処理施設整備率が低く、集合処理施設での整備が効率的でない地域においては、合併処理浄化槽の整備を重点的に進めます。

「伊勢湾再生ビジョン策定調査報告書」を踏まえ、関係部局の連携のもとで総合行政による伊勢湾再生戦略プログラムの推進等に取り組みます。

干潟の浄化能力、干潟における物質の循環等の調査や、海域における水環境の改善能力の検証を「閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業」等により進めていきます。

< 主な事業 >

河川等公共用水域水質監視費【基本事業名：41301 安全・安心な水環境の確保】

当初予算額： 53,530 千円 44,148 千円

事業概要：公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施します。

また、伊勢湾に流入する汚濁負荷量の削減のための総量規制を実施するとともに、伊勢湾の水質・底質の調査を行います。

生物を活用した水質保全費【基本事業名：41303 生物を活用した水環境保全対策の推進】

当初予算額： 25,444 千円 18,223 千円

事業概要：有用微生物群や二枚貝などの水生生物を活用した環境改善機能等を確認するための実証実験の実施及び実験結果を踏まえ、有用微生物等の活用を検討します。

浄化槽設置促進事業補助金【基本事業名：41302 生活排水対策の推進】

当初予算額： 345,800 千円 335,180 千円

事業概要：公営企業として浄化槽を設置する市町村や、浄化槽の設置者に補助を行う市町村に対して助成し、浄化槽の普及を促進することにより、快適な生活環境の確保、水環境の改善を図ります。

(重) 合併処理浄化槽整備重点促進事業【基本事業名：41302 生活排水対策の推進】

当初予算額： 423,453 千円 438,130 千円

事業概要：水質改善が必要な地域で、生活排水処理施設の整備率が低く、下水道処理施設での整備が見込まれない地域において、市町村が行う合併処理浄化槽の整備に対して重点的に支援し、生活排水処理施設の集中的な整備を促進します。

伊勢湾再生事業【基本事業名：41304 伊勢湾の再生】

当初予算額： 3,530 千円 3,950 千円

事業概要：伊勢湾再生にかかる普及啓発や調査研究を行うとともに、多様な主体との連携と協働による体制づくり、総合行政による伊勢湾再生戦略プログラムの推進等に取り組みます。

閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業

【基本事業名：41305 水環境保全の研究の推進】

当初予算額： 39,177 千円 22,853 千円

事業概要：環境汚染が深刻化している閉鎖性海域（英虞湾）における干潟、浅場、藻場などの自然浄化機能について研究し、新たな環境を創生するため、沿岸環境創生技術の開発、底質改善技術の開発、環境動態シミュレーションモデルの開発の研究に取り組みます。